

こどもも おとなも 元気いっぱい 東町小！



あずっ子

東町小学校学校だより
6月28日発行
校長 野口 正孝
在籍児童数459名
(6/28現在)

ルールとモラルについて考える

1学期も残すところ3週間となり、まとめの時期となりました。各クラスではそれぞれの学習の仕上げを行っているところです。

さて、先日考えさせられることがありました。それは、東京都の都知事選挙で行われた掲示板のポスターの件です。選挙における表現の自由ということで、選挙の趣旨とは違うポスターが貼られました。しかし警察から警告を受けた候補者はポスターをはがしたようです。公職選挙法という法律(社会の決まり)の穴を突くようなことが起きてしまいました。

学校にはルールやマナー、モラルがあります。東町小にも「東町小の決まり」というものが各教室に貼られています。集団生活を行うにあたって、決まりは必ず必要です。それは学校だけに限らず、人が集団生活を行う上では、お互いが決まりを守らないと規律が保たれないからです。では、モラルとは何でしょうか。日本語にすると道徳や倫理、良識ということになりますが、モラルは明確に文書にされているものではありません。しかし、モラルがないと様々なトラブルが起きてしまいます。例えば今回のポスターの件は、法的には罰することができないそうです。しかし、こうしたポスターは多くの人々に不快を与えてしまい、警察や選挙管理委員会にも苦情が寄せられました。世界がグローバル化される中、人の価値観も多様になっていきます。こうしたモラルの問題も今後別の形で出てくるのではないのでしょうか。子どもたちにはこうした問題を自分の力で解決できるモラルの高さを身に付けてほしいと思います。

先日、6年生の修学旅行がありました。子どもたちはルールやマナーをととてもよく守り、楽しく旅行を終えることができました。集団生活の中で、ルールやマナーを守ることが楽しさにつながることを感じてくれれば、自然とモラルも高まるのではないかと思います。